

2019 年度 第 2 回 8 月 東大本番レベル模試 地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

**2 論述問題**

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは（1 つの設問につき）1 点減点。
- ③ 指定用語不使用は 1 点減点。
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別 加点 基準**

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は 必須 キーワード であり、この 表現 が なければ 当該 加点 ポイント における 加点 は しない。その他は 同義 であれば 加点 する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を 意味 する。
- 3) 「② (①の 説明 として)」は、加点 ポイント ① を 正解 して いない 場合 にも、加点 ポイント ② に 該当 すれば 加点 する。

第 1 問

設問 A

(1) 1 点 × 2

a - フィヨルド      b - エスチュアリー / エスチュアリ

(2) 4 点 (3 行)

氷期の U 字谷 が 間氷期の 海面上昇 で 沈水 した a は、河川沿いの 低地 が 沈水 した b と 違って 急斜面 が 迫り 後背地 が 狭い。よって 沿岸 に 大都市 は 無い が、波 が 穏やか で 水深 が 深い ため 養殖業 が 成長 した。

【加点 ポイント】 (※(1)の 可否 は 問わない)

- ① (a の 形成過程 として) U 字谷 が 沈水 した / U 字谷 に 海水 が 侵入 した → 1 点  
     ↓  
     「氷河谷」でも可
- ② (b の 形成過程 として) 河川沿いの 低地 が 沈水 した / 河口 が 沈水 した → 1 点
- ③ (a の 都市の 立地 として) 後背地 が 狭い / 背後 に 急斜面 が 迫る  
     +  
     大都市 にならない / 大貿易港 には ならない / 漁村 に とどまる } → 1 点
- ④ (a の 産業 として) 養殖業 / 漁業 / 水産業 → 1 点

(3) 2 点 (1 行)

急峻な 山地 の 侵食 で 生じる 大量 の 土砂 が 堆積 し、埋没 する ため。

【加点 ポイント】

- ① (河口部 の 特徴 として) 大量 の 土砂 が 堆積 する / 大量 の 土砂 が 運搬 される  
     / 大量 の 土砂 が 河口 を 埋める → 1 点
- ② (①の 要因 として) 急峻な 山地 が ある / 川 の 流れ が 急 である / 土砂崩れ が 頻発 する → 1 点

2019 年度 第 2 回 8 月 東大本番レベル模試 地理 採点基準

(4) 3 点 (2 行)

[指定語句] 寒流 氷河 用水 3 つ全て 下線付きで使用 (語句抜けは 1 つにつき -1 点)

寒流の影響で上昇気流が生じにくく乾燥しており、地球温暖化で山岳の氷河が消失すると、低地における用水の水源を失うため。

【加点ポイント】

- ① (地球環境問題として) 地球温暖化 →1 点
- ② (海岸低地の気候の特徴として) 寒流の影響で乾燥している / 寒流の影響で雨が少ない →1 点
- ③ (人間活動について) 山岳の氷河が消失すると用水の水源を失う / 氷河を用水として利用している  
    ↓ 「農業用水・生活用水」なども可 →1 点

(5) 2 点 (1 行)

氷期に、海面低下で陸続きになったアジアの東部から移住した。

【加点ポイント】

- ① (時期として) 氷期 / 氷河期 / 最終氷期 / 更新世末期 / 約 1~7 万年前 →1 点
- ② (移住元として) アジアの東部 / 東アジア / ユーラシア大陸 →1 点

2019 年度 第 2 回 8 月 東大本番レベル模試 地理 採点基準

設問 B

(1) 1 点×2

アー永久凍土 (※「凍土」は×) イー地中海

(2) 3 点 (2 行)

雪をかき分けて苔類や地衣類を食べるトナカイの遊牧で、肉、乳、毛皮等を得てきたが、積雪が氷になると給餌が困難になるため。

【加点ポイント】

① (伝統的生業について) 遊牧/狩猟 →1 点

② (①に関連する動物として) トナカイ/カリブー →1 点

(※内陸部なので「アザラシ」は加点しない)

③ (融雪の影響について) ②の給餌が困難になる/②の餌が氷に閉ざされる

/餌の苔類や地衣類が凍り付く →1 点

(3) 2 点 (2 行)

[指定語句] 

沿岸国	大陸棚	東アジア	北大西洋
-----	-----	------	------

 4 つ全て 下線付きで使用

沿岸国では資源の豊富な大陸棚を巡る領有権問題、東アジアでは北大西洋への輸送距離が短縮される新航路開発の可能性が生じた。

【加点ポイント】

① (政治的緊張について) 北極海の沿岸国で大陸棚の資源を巡る領有権問題がある →1 点

(※沿岸国で大陸棚の資源獲得争いがあることが分かればよい)

② (経済的期待について) 東アジアと北大西洋を結ぶ新航路 (北極海航路) の可能性

/ 東アジアでは北大西洋への北極海航路の実現を期待する

/ 北極海経由で東アジアと北大西洋岸が結ばれる

/ 東アジアから北極海と北大西洋を通過して欧米に行く航路ができる →1 点

第 2 問

設問 A

(1) 2 点

(ア)ーアメリカ合衆国／アメリカ (イ)ー日本 (ウ)ーポーランド (エ)ーマレーシア

※4 個正解 →2 点 1～3 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 3 点 (2 行)

イ国では安価な労働力を求めて国内の製造業が周辺途上国に移転し、ウ国では重化学工業化を進めた社会主義体制が崩壊したから。

【加点ポイント】(※(1)の可否は問わない)

① (イ国について) 国内製造業が海外に移転した

／国内企業の海外生産 (海外進出・現地生産) が進んだ →1 点

② (①の理由として) 安価な労働力を求めた／国内賃金が高い／賃金コストを削るため →1 点

③ (ウ国について) 社会主義体制が崩壊した／社会主義経済から資本主義経済になった →1 点

(3) 2 点 (1 行)

市場開放と海外資本の導入により輸出指向型工業化を進める。

【加点ポイント】(※(1)の可否は問わない)

① 市場開放／海外資本の導入／海外企業の誘致 →1 点

② 輸出指向型工業化の推進／輸出向け製品を生産する／輸出加工区を設置 →1 点

(4) 4 点 (3 行)

国民経済の成長で内需が拡大すると第三次産業が量的に拡大する。付加価値の低い消費関連サービスに続き、多様なサービス需要に対応した、付加価値の高い生産・社会関連サービスが拡大する。

【加点ポイント】

① (量的変化について) 経済成長により第三次産業は量的に拡大する

／経済成長により第三次産業の割合は増加する →1 点

② (①の背景として) 内需が拡大する／国内の消費が拡大する／消費関連サービスが拡大する

／小売・卸売業など (飲食・宿泊業など) が盛んになる →1 点

③ (質的变化について) さらに経済成長が進むと、生産・社会関連サービスが拡大する

／①や②の後に、教育、金融・不動産業などの業種が拡大する →1 点

↓「家庭生活・健康・娯楽・リース関連」などの業種でも可

④ (③の背景として) 多様なサービス需要が生まれる／消費以外のサービス需要が生まれる

／付加価値の高いサービスが求められる／生活の質の向上が求められる →1 点

2019 年度 第 2 回 8 月 東大 本番 レベル 模試 地理 採点基準

設問 B

(1) 1 点 (完答)

X－旅行 Y－情報通信 Z－知的財産

(2) 3 点 (2 行)

訪日外国人が増加し、観光部門のインバウンド消費が増加したが、混雑による地域住民の不便や宿泊施設の不足をもたらしている。

【加点ポイント】

★(1)「X－旅行」を正解していることが加点の前提

- ① (産業への影響として) 観光部門のインバウンド消費が増加した  
／観光業・宿泊業などで外国人からの収入が増えた →1 点
- ② (①の背景として) 訪日外国人の増加／外国人旅行客の増加 →1 点
- ③ (地域社会への影響として) 交通混雑／宿泊施設の不足／住民の生活環境の悪化  
／観光施設の不適切な利用／ゴミなどのマナー問題 →1 点

(3) 2 点 (2 行)

情報通信技術を利用し、アメリカ合衆国や日本の企業が、プログラム作成やデータ処理をインドや中国の企業に請負わせるから。

【加点ポイント】

★(1)「Y－情報通信」を正解していることが加点の前提

- ① (情報通信の分野で) アメリカ合衆国や日本からインドや中国へ仕事を発注する →1 点
- ② (①の内容として) プログラム作成／データ処理／ソフトウェア開発／コールセンター業務 →1 点

(4) 3 点 (2 行)

結びつきの強い海外に設立した現地子会社の収益の一部が還元されるので、投資先の国が赤字、親会社の立地する国が黒字となる。

【加点ポイント】

★(1)「Z－知的財産」を正解していることが加点の前提

- ① (先進地域 (黒字国) の民間企業は、途上地域 (赤字国) に) 子会社を設立する →1 点
- ② (①の結果) 現地子会社の収益の一部が親会社に還元される  
／子会社から親会社へ特許権などが支払われる  
／知的財産使用料を多く受け取る方が黒字国となる  
／途上国は先進国に多くの知的財産使用料を払うので赤字国になる →2 点

第 3 問

設問 A

(1) 各 1 点 × 3

アーシリア イーアフガニスタン ウー南スーダン

(※「エ」「オ」については採点対象外 )

(2) 1 点 (1 行)

迫害により自国から逃れ、他国の保護下にある者。

【加点ポイント】

①「迫害／人権侵害／武力紛争」 により 「他国に居る人／国外に出た者／避難民」 →1 点

(3) 2 点 (1 行)

アラブの春から民主化運動が激化し、政権との内戦に発展した。

【加点ポイント】

★(1)「アーシリア」を正解していることが加点の前提

① (契機として) アラブの春／民主化運動の高まり →1 点

② (①により) 内戦が起きた／政府と反体制派が争っている／政権が武力弾圧を始めた →1 点

(4) 3 点 (2 行)

仏教徒の多いエ国内では少数派であるムスリムのロヒンギャが弾圧を受け、隣接するイスラーム国家のバングラデシュに逃れた。

【加点ポイント】

① (エ国の難民として) ロヒンギャ →1 点 (※エ国=ミャンマー)

② (エ国の主要宗教として) 仏教／上座部仏教 →1 点

③ (バングラデシュと①の宗教として) イスラム教／イスラーム／ムスリム →1 点

(5) 4 点 (3 行)

発展途上国では受け入れに伴う経済・治安の負担が重く、難民と共に紛争自体が持ち込まれやすい。先進国では台頭する排外主義に対し、多文化共生の推進、統合のための負担の分担が課題となる。

【加点ポイント】

① (発展途上国は) 経済の負担が重い／経済的に苦しい／難民支援の資金が不十分 →1 点

② (発展途上国は) 治安が悪くなる／紛争自体が持ち込まれやすい／紛争に巻き込まれる →1 点

③ (先進国では) 排外主義が台頭する／難民受け入れに対する不満が高まる →1 点

④ (先進国では) 多文化共生が難しい／宗教などの文化習慣が社会的に受け入れられない

／支援の費用負担に国民の同意が得られない

／難民の通り道となる隣国との関係が悪化する

／難民と経済移民との区別がつかない

→1 点

設問 B

(1) 2 点 (1 行)

自動車関連産業を中心に、ブラジルなどの日系人労働者が多い。

【加点ポイント】

- ① (身分に基づく在留資格として) 日系人が多い →1 点
- ② (①の理由として) 自動車関連産業の労働者が多い／入管法が改正された →1 点

(2) 2 点 (1 行)

留学生の学業と両立可能な商・サービス業の就労先が集積する。

【加点ポイント】

- ① (就労先として) 商・サービス業が多い →1 点  
    → 「飲食店・コンビニ・スーパー・商店」なども可
- ② (①の理由として) 学業と両立可能／昼間は学校に行く／通学しながら働く →1 点

(3) 3 点 (2 行)

水産業。少子化や厳しい労働環境を背景にした人手不足を外国人に依存して補っており、将来の中核的人材の育成が困難である。

【加点ポイント】

- ① (就労部門として) 水産業／漁業／養殖業 →1 点
- ② (①の部門の特徴として) 人手不足である／労働環境が厳しい／高齢化が進む →1 点
- ③ (実習生が帰ると) 将来の中核的人材の育成が困難／後継者がいない／技術の継承ができない  
    ／経営の継承ができない／廃業する人が増える →1 点